

# セポ ・ レポ ・ ハイスクール Cepo Repo ・ HighSchool

第4号 (2020年10月 発信)

地域連携教育推進室員が県立高校等に赴き、各学校の地域連携教育の取組をレポートしていきます。このレポートのタイトルである「セポ・レポ・ハイスクール」の「セポ」は「地域連携教育推進室」を表す「Community Education Promotion Office」の、「レポ」は「Report」の略称です。

## 県立華陵高等学校の取組



飲食店の方からアドバイスを  
受けながら準備している様子



ソーシャルディスタンスに  
配慮し販売している様子



販売した商品の一部

9月4日（金）に県立華陵高等学校で開催された文化祭で、3年生が下松市内の飲食店6店舗と連携・協働して「下松エール飯 in 華陵祭」と銘打ち、文化祭限定メニューを販売しました。この取組は、例年であれば食品販売の模擬店を担当する3年生の要望に応えるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で打撃を受けた飲食店を応援することを目的としたものです。

注目！

ポイント！

飲食店との事前打合せから生徒が参画するなど、単なる連携にとどまらず生徒が主体性を持って、多様な人々と協働する取組となっており、生徒からは「コロナ禍で大変な地元企業の手助けになればよい」「飲食店とのやりとりは大変だったが、普段経験することのない体験ができて勉強になった」などの感想を聞くことができました。

注目！

文化祭当日は、販売前に飲食店の方から商品の提供方法などを教えていただき、生徒たちがクラスごとに調理済みの食品を販売しました。その際には、生徒たちが作成した各飲食店のおすすめメニューや場所が掲載されたチラシを配布するなど、各飲食店のアピールもしっかりしていました。また、お客様がソーシャルディスタンスを保てるよう足元に立

ち位置を表示するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も十分に行われていました。

注目！

出店した飲食店の方からも「華陵高校を支援したいので参加した」「生徒と触れ合えて嬉しい」「学校から遠い場所に立地しており、今回の出店は子どもたちに知ってもらうよい機会になった」などの声を聴くことができました。

ポイント！

この取組は、学校支援と地域貢献が一体的にすすめられているとともに、コロナ禍においても地域の教育資源を効果的に活用することで学校の教育目標を実現しようとするものです。

ポイント！

注目！

今後、華陵高校では、この取組を第2回学校運営協議会で報告し、委員の方々にコロナ禍だからこそできるコミュニティ・スクールの仕組みを生かした取組について協議していただくことになっているそうです。

県立華陵高等学校の情報はこちらから→ <http://www.karyo-h.ysn21.jp/>

